



JASDAQ

平成24年2月13日

各 位

上場会社名 株式会社 サンエー化研
代表者 代表取締役社長 藤岡 宣隆
(コード番号 4234)
問合せ先責任者 取締役経営企画部長 藤岡 貞章
(TEL 03-3241-5702)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月18日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,800	百万円 690	百万円 750	百万円 450	円 銭 41.01
今回修正予想(B)	31,800	△50	40	△65	△5.92
増減額(B-A)	△4,000	△740	△710	△515	
増減率(%)	△11.2	—	△94.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	33,572	512	627	308	28.14

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,100	百万円 700	百万円 420	円 銭 38.27
今回修正予想(B)	28,800	△30	△100	△9.11
増減額(B-A)	△4,300	△730	△520	
増減率(%)	△13.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	30,695	545	293	26.75

修正の理由

我が国経済は、欧州財政不安等による世界景気の停滞、歴史的な円高、タイ国の大規模洪水等の影響により景気の先行きに対する不透明感が続いています。

このような状況の下、当社グループの平成24年3月期第3四半期連結会計期間において、軽包装材料と産業資材は比較的堅調に推移しました。しかしながら、機能性材料については世界的な薄型テレビの需要低迷により、当初見込んでおりました既存の光学用表面保護フィルムの受注が本格的な回復に至らず、売上高が大幅に落ち込むこととなりました。一方、新製品の表面保護フィルムやタッチパネル用部材については、一定の売上高を確保しましたが、主力製品の落ち込みによって全体の販売予定金額を確保することができませんでした。

この結果、売上高の減少により営業利益、経常利益及び当期純利益が、前回の業績予想を下回る見通しとなつたため、業績予想を修正致します。

(注)上記の予想数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上